

令和4年度 第4回 河輪小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年 2月 22日（火） 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 河輪小学校 1階会議室
- 3 出席委員 鈴木大介、渋谷德行、太田尚吾、藤田正治、藤田沙奈江、間宮年弘  
中村健二
- 4 欠席委員 島津真理子
- 5 オブザーバー 飯田一明（南陽協働センター所長）、袴田 伯領（河輪地区主任児童委員）
- 6 学 校 太田賀子（校長）、宮崎正昭（教頭）、櫻井伸夫（教務主任）、  
鈴木江利子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 協議事項
  - （1）議長の選出について
  - （2）学校関係者評価
  - （3）学校運営協議会の自己評価
  - （4）令和5年度の学校運営の基本方針
  - （5）いじめ防止等のための基本的な方針について
  - （6）夢育やらまいかCS加算分の報告
- 10 教育総務課より
- 11 会議録作成者 CSディレクター 鈴木江利子
- 12 会議記録  
司会から、委員7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会が議長の選出について委員に意見を求めたところ、委員から会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）学校関係者評価 （資料参照）

- ・ No.15 児童がよく分かっている。教員もそうだと思う。No.3 考えや思いを進んでみんなに伝える。児童、教員が同じ考えだと分かる。（藤田正治委員）
- ・ コロナ禍で少なくなっていたから、学校の様子を知るために保護者が学校へ来る機会を増やしてほしい。（中村委員）
- ・ 1年生と6年生では考えが違うと思う。「学校が楽しい」とは、何が楽しいのか分かったら良い。課題設定は大丈夫だろうか。（袴田委員）

- ・ 「キャリアパスポート」というものがあり、活用している。協働的学びを進めている。タブレット活用により、教員もファシリテーション能力向上を目指している。児童はキーボードの能力向上を目指して練習している。(校長)
- ・ 子ども自身ができていると思っていることと、保護者の考えが違う。交通指導の際に、元気がない子を見掛けるので心配していたが、アンケートでは学校に楽しく来ることができているようなので安心した。参観会の際にはタブレットが活用されていて、DIYや映像作家など自分の夢に向かって、職種やどういう方法で働くことができるかなど、自分で調べている様子が見られた。辛く思っている子がいない、いじめのない学校を願っている。(藤田佐奈江委員)
- ・ No.4とNo.14の「いいえ」、を0にしていきたいと思う。子供たちの夢について、例えば医者になりたいという目標をもったとする。「病気の人を助けたい」と思っていることかと思うが、医者以外の道がある、めあてが毎日書き取りを1ページ書くという手立てになってしまっている。めあては漢字が得意になること。漢字が得意になるためにはいろいろな方法があると思う。(間宮委員)
- ・ 目的と手段があるが、「手段」が優先されてしまうので、訓練が必要。いじめについては、少数でも掘り下げて対応したいことだと思う。(渋谷委員)
- ・ 学校に行くのが辛いという子が1人でもいたら置いていかないという考えでいる。(校長)
- ・ 児童・保護者・教員が同じ意識で良いと思う。P9、No.4「子供たちの生きる力を育成していきたい」とあるが、「たくましく生きる」とした方が良いと思う。(鈴木会長)

### (3) 学校運営協議会の自己評価 (資料参照)

- ・ 地元の学校として魅力づくりを願っている。(藤田正治委員)
- ・ この12年間で児童が減少し、従来のPTA活動が困難になっている。地域の人を巻き込んで河輪小の伝統を守ってほしい。(太田委員)
- ・ コミュニティ・スクールの取組として、教員の助けになれば良いが、教員の困り感が見えてこない。困っていることはないのだろうか。依頼があれば対応していきたい。(中村委員)
- ・ 来年度は150周年ということなのでバックアップしたい。(袴田委員)
- ・ 保護者と会話することがあるが、保護者は協力したいという気持ちはあるが仕事をしているため時間がない。平日は時間的余裕があって子供たちと対応できる方、地域にキャリアのある方が多いので協力してもらわないともったいないと思う。(藤田佐奈江委員)
- ・ 子供たちが自分の力で取り組むことも必要だと思う。女子バスケの町田るい選手が、「努力の先に花が咲く。」報われないことが多いが努力を続けると言っている。教育は将来の自分のためだと思う。(間宮委員)
- ・ 児童は「キャリアパスポート」を使うことで意識が日常化している。静岡ブルーレブスの選手にタグラグビーを教えてもらった時は、「夢はひとつじゃない。そのために多くの努力をした。」スズキACの選手は、「練習は厳しい。しかし練習後の達成感は何とも言えない。」と子供たちに話をした。地域の声楽家の方にも専門家として教えてもらった。(校長)
- ・ 教員は忙しいと思うが、夏休みなど長期休業期間にはどういうことをするのか。充電期間として有意義な研修をしたら良いと思う。(渋谷委員)

(4) 令和5年度の学校運営の基本方針 (資料参照)

- ・ 令和5年度は新3年生が2学級になるので、学級環境の変化に合わせてられるよう指導していきたい。「学校に楽しく通う」ように何が楽しいのか言える、そうでない子が少しでもいたら対応していきたいと思う。(校長)
- ・ 5 に「知」とあるが、「知る」ことか「知恵」か。知識取得というが、「知識」現行は協働的に話し合っって新しい知識を生み出すことだと思う。(渋谷委員)
- ・ (5) いじめ防止等のための基本的な方針について

(5) いじめ防止等のための基本的な方針について (資料参照)

来年度に熟議を行う予定

(6) 夢育やらまいかCS加算分の報告 (資料参照)

※委員全員の承認を得た。

(7) 教育総務課より

本年度は学校運営協議会が発足して1年目だということだが、委員の方々の建設的な意見・取組が素晴らしいので、今後も御協力をお願いしたい。

その他報告事項等

- ・ 次回会議は、令和5年 5月11日(木) 14:00~16:00 1階会議室で開催する旨の報告があった。
- ・ 令和5年度年間行事予定は2月終わりか3月始めに、さくら連絡網で配信する。